



## 住みよく安心の街 宮西連区

宮西連区地域づくり協議会  
会長 森 雅昭



令和6年度がスタートしました。今年度も、昨年同様に連区の皆様や役員の助けを頂き、事業を進めたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ここ3年間の新型コロナウイルスは5類に移行になりましたが、まだまだ警戒する必要があります。その中でも、良い活動ができ、地域の力を大いに感じることができるようになりました。

昨年度3回目を迎えました「希望の花火」の打ち上げも地域の皆様のご協力で見事な観客を入れ盛んに終わることができました。地域の方々にはたいへん感謝を申し上げます。また、今年度も宮西連区行事として計画・遂行したいと思います。

令和6年度は、昨年同様に**防災・減災**と**子ども支援**を地域の重点目標としております。

防災については、今年1月1日に能登半島地震が発生して大きな被害がありましたように、大地震や風水害が全国で毎年のように発生しております。一宮市では大災害に見舞われた経験が少なく、まだまだ防災に関心が薄いようです。しかし、南海トラフ巨大地震に襲われる可能性は十分にあります。長期間のライフラインの停止等により、日常生活が困難になると予想されます。万が一の災害に見舞われたとき、どのように行動すればよいか、避難場所はどこか、など各自で備えることが大切です。しかし、「自助」には限界があり、地域としての「共助」が必要になります。そこで「宮西防災協議会」で話し合い、機会をとらえて避難訓練等を今年度も実施する予定です。ご参加をお願い申し上げます。

子ども支援については、今までの児童育成会と公民館・学校外活動推進委員会などの活動とできる限りつながりが出るように「子ども事業部」を立ち上げ活動をしていきます。また、児童見守りも充実させ住民皆で支援をしていきたいものです。さらに、令和4年度からスタートした主に中学生対象の「宮西学習教室」、小学生対象の「子ども広場」の充実を図って行きます。

今後も宮西連区地域づくり協議会の活動に連区ワンチームとなり、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。



子ども広場



昨年度の防災訓練



学習教室



「日本凧の会」尾張一宮支部会長の澤木寛さんと澤木都誉子さんを講師にお迎えして宮西公民館にて、宮西小学校の親子を対象に「凧づくり教室」を開催しました。当日は19組39名が参加しました。

澤木さんののていねいな作り方の説明を聞きながら親子で協力して凧づくりを進め、全員がすてきな凧を完成させることができ、笑顔があふれていました。天気が良ければ九品地競技場で凧あげをする予定でしたが、残念ながら雨天のためできませんでした。

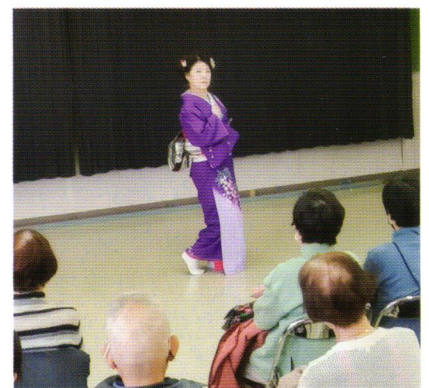
一部の作品は「宮西文化展」に出品しました。



第6回「宮西ふれあいサロン」開催 2月8日(木) 見守りネットワーク推進委員会

第6回宮西ふれあいサロンが宮西公民館で開催されました。

第一部は日本舞踊です。花柳ゆみ女さんより、「日本舞踊は皆様に感動を与える踊りを心掛けており、演じる人物になりきり心を込めて踊らせていただきます」とお話していただき、ストーリーが大事であり「心で見ると心で踊ると心で感じる・心で演じる」を心掛け「ききょうクラブ」の皆様、日本文化の洗練された伝統芸能を披露していただきました。美しい着物を着た所作や立ち振る舞い、すっと伸びた背筋、指先まで心を感じる踊りを見せていただきました。



第二部は一宮市政策課の小沢さんより「SDGs (エスディージーズ)」のお話をいただきました。スクリーンを見ながら「貧困を無くし社会と経済、環境のバランスが大事である事」、私たちが出来る身近な事から進めて行きましようと話されました。



宮西文化展(作品展) 2月11日(日) 公民館

昨年はコロナ禍等で縮小して実施しましたが、今年度は従来通り宮西公民館にて宮西文化展を開催しました。連区のサークルや個人の丹精込めた作品が出品され好評でした。また、北部中学校の生徒の作品・宮西小学校の児童の力作も展示されました。今年は4年ぶりの「ぜんざい」の接待もあり、みなさんに美味しく味わっていただきました。

当日に、能登半島地震災害義援金を来場者の方々に募金をしていただき60,613円が集まり、中日新聞社会事業団に振り込みました。多くの皆さんにご協力いただき、たいへん感謝申し上げます。



## 防災訓練2 2月18日(日)

宮西防災協議会

宮西連区地域づくり協議会・宮西連区町会長会主催で、前回の11月に続いて2回目の連区防災訓練を宮西小学校で実施しました。記憶に新しい1月1日の能登半島地震の被災地の様子は皆さんが報道などで衝撃を感じてみえると思います。地震などの災害はいつ起こるかわかりません。前回は「避難所開設・避難所運営」に特化した訓練でしたが、今回は一宮消防署八幡分署・真清北消防分団の協力をいただいて、総合的な訓練を防災委員や町会長・地域の方120名の参加で実施しました。訓練内容は、屋運ではAED操作、胸骨圧迫、応急担架作成、避難所に設置する段ボールベッド、簡易トイレ、室内用簡易テントの組み立てを見学しました。また、防災アドバイザーの河村文雄さんから「命を守る」と題しての講義を視聴しました。運動場ではバケツリレー、消火器操作、煙道体験などの訓練を実施しました。最後に、消防団の放水訓練を見学しました。参加者は、災害発生時に備え真剣に取り組まれ、成果があがったと思います。

ご参加された皆さん・関係機関の方々にお礼を申し上げます。

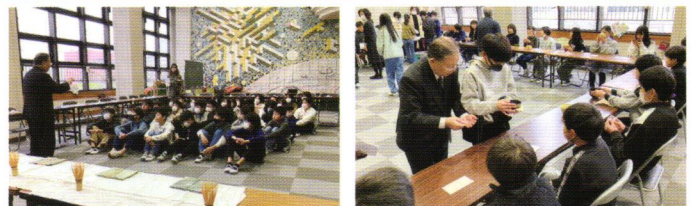


## 卒業生お茶会 2月21日(水)

学校外活動推進委員会

4年ぶりに宮西小学校コモンホールにて、卒業生お茶会が開催されました。

大島宗立先生指導のもと、従来にない児童参加型の「茶道体験教室」を行い、笑顔あふれる楽しい茶会になりました。



## お知らせ

### 令和6年度第1回「宮西ふれあいサロン」

見守りネットワーク推進委員会

4月11日(木) 9時30分～11時30分、宮西公民館2階大会議室にて開催いたします。先着60名とします。(宮西連区内の方が対象です)

申込は4月1日(月)から4月8日(月)までに宮西公民館へ事前申込をお願いいたします。

4月のサロンより、演目が始まる前にコーヒー・お茶・お菓子を食べながら、宮西ふれあいサロンの目的であります、高齢者が気楽に集まれる交流の場での「仲間づくり」「健康づくり」を進めてまいります。

今回の演者は登龍亭一門の落語家「登龍亭獅鉄(トウリュウテイシテツ)」さんです。東海地区を中心に活動してみえるプロの落語家です。皆様の参加お待ちしております。

◇令和6年度開催予定日

偶数月 第二木曜日 午前9時30分～11時30分

第1回 4月11日

第2回 6月13日

第3回 8月8日

第4回 10月10日

第5回 12月12日

第6回 2月13日

## お知らせ

たけのこ掘 4月21日(日)

学校外活動推進委員会

毎回定員を上回る申込みをいただいています、恒例の「たけのこ掘」を4月21日(日)9時30分より木曾川町里小牧地内の竹林で実施します。詳細は宮西小学校よりご案内いたしますので事前申込をお願いします。

### 進級・進学おめでとうございます

#### ◇宮西少年野球クラブ

新1年生の皆さんご入学おめでとうございます。宮西小学校に通う小1以上、男女問わず参加できます。まずはご家族で気楽に練習の見学にお越しください。

お問合せは：<https://miyanishi.89dream.jp/>

#### ◇宮西学習教室

毎週日曜日の午後、宮西公民館にて静かな環境の中、皆さんの自学をサポートしています。本年度より中学生に加えて、宮西小学校高学年、連区在住の高校生の皆さんにも開放します。登録制ですので申込をお願いします。

申込先：宮西公民館

## 宮西アラカルト「桃花祭」

真清田神社伝統の「桃花祭」が、4月1日から3日まで行われます。御祭神の「天火明命」(あめのほあかりのみこと)の鎮座を記念する伝統の祭で、古くは旧暦の桃の時期に行われていました。御祭神が神輿に載って約1キロ離れた御旅所までを往復する、「神輿渡御」が3日のメイン行事となっています。その神輿渡御に御供するのが、飾り馬具を載せた献馬。宮西連区は、真清田神社一番の御膝元として古くから各町内挙げて神輿渡御を盛り上げてきました。



飾りを載せ町を練る献馬(戦前)



真清田神社宝物館に保管されている飾り馬具

#### 旧町内の主な飾り

馬具は、栄町「御神酒壺」、祢宜町「御祓」、未広町(杉戸)「素戔鳴尊」、宮川町(大正通りから宮西通り)「猿田彦命」、杉戸中之切「武内宿祢」、大杉戸「大己貴命」。また、中小島と西小島は「御祓」、細田町「大黒神鼠」、長良町「楠公父子の訣別」、西本町「神功皇后」。そして、上本町「恵比須鯛」、神田町「御祓」、葵町「東照宮」、琴平町「仁田四郎」、大門町(本町一)「猩々」、柳町「小野道風」でありました。

これら飾り馬具を載せた献馬が、長襦袢姿に化粧した若い衆とともに各町

内を練り歩き、これに子ども獅子も加わってそれはそれは盛大に練り広げられていました。時代は平成に入り、町内を馬が往くこともなく子ども獅子も激減。牽き手もいなくなった飾り馬具は、今では真清田神社宝物館にひっそり保管されています。それらは江戸後期から大正期にかけ、一流の人形職人らによって調整された逸品。真清田神社一番の御膝元の宮西連区、桃花祭を迎えて往時の有り様にいま一度思いを馳せることが大切なのではないのでしょうか。



大門町の「猩々(しょうじょう)」

次回は令和6年6月1日に発行します